

Global Club 活動紹介



南京航空航天大学との交流会 2021 12/3

Q. この交流会ではどのようなことをしましたか？

A. 中国にある南京航空航天大学の学生とZOOMを繋いで、それぞれの国の年末年始の過ごし方を紹介しました。中国では水餃子を食べたり、爆竹を鳴らしたり、家に赤いものを飾ったりと日本とは違う習慣がありました。また、大晦日に「春晚」という日本の「紅白歌合戦」に相当する年越し番組を見ていたり、共通する習慣もありました。

Q. 交流会を通して学んだことは何ですか？

A. 日本の文化を説明することが意外と難しいということです。自分たちにとって身近な習慣だからこそ、いざ目の前の人に紹介しようとした時に、何から話せばいいのかわからなくなりました。

NTI高校とのゲーム大会 2022 2/22

2022年2月22日にスウェーデン・NTIストックホルム高校の学生と「MUCK」というゲームで遊びました。このゲームはノルウェーのYouTuberの方が作成したサバイバルゲームです。

これまでの交流会では、英語で会話を行うことを目的としていましたが、今回はみんなでゲームをするために、英語を「手段」として使うことで、英会話をより身近に感じることができました。

最後に

Global Clubでは月に1回程度、海外の学生とオンラインで交流会を行っています。日本にいと英語を使う機会が少ないので、毎回とても貴重な体験です。日本語を使った交流会も行っているの、英語が苦手な方でも参加しやすいと思います。気になった方は右のQRコードからInstagram(@globalclub.knct)に飛んでいただけたら嬉しいです！



教えて！
Teacher!!



一般教育科
野澤 宏大先生 の

国際交流

Q1
これまでどのような海外経験をされてきましたか？

初めて海外に行ったのはオーストラリアで、当時の研究の観測場所に適していたからでした。他にも、いろいろな学会などでフランスやアメリカ、イギリス、ブラジルなどたくさんさんの国に行く機会が多かったです。

Q2
先生の専攻だと観測などにより海外に行くことが多いですね。

そうですね。木星の周りにはプラズマを光で観測ということをやっていたんですけど、普通は天文台の望遠鏡を借りて、観測は一週間ぐらいいなくて、でも我々は連続観測をして、現象がどのような時間変化をするかわかりなかったの、長い期間の観測をしました。そのために、自前の望遠鏡のシステムを組み上げて、それを観測条件の良い所に持っていくとしたんです。日本は特に夏場は晴天率が低く高温多湿なので、天体の観測にはあまり条件が良くないですね。

Q3
海外に行ったときに衝撃的だったことはありますか？

スリにあってた時ですね。満員電車に乗っていた時、電車のドアに挟まれた人がいたんですよ。で、私と一緒に来ていた友達が、ドアを押さえて助けてあげたんです。その人はそのまま走り去っていきまして、その直後、友達もポケットを押さえて「ない」と叫びました。そう、友達の財布を奪った犯人を助けてしまったんです！あんな瞬間で、という衝撃と助けた人がまさか犯人だった、と複雑な気持ちになりました。特に海外では、貴重品の管理はしっかりするべきですね。

Q4
海外に行った後と行く前でご自身の変化は何かありましたか？

物事の見方が変わりました。あと、いかに自分が日本のことを知らなかったのかわかりました。そして、日本の文化をより知るきっかけになりました。やはり、国際交流では自分の国の文化について聞かれることが多いので、自国の文化を知っておくことは大事だと思います。

それに加えて、いろいろな国のあいさつ程度はできるとコミュニケーションがとりやすくなって、相手との距離が縮むと思います。あと、海外の映画を吹き替えではなく、字幕で見ると雰囲気分かるのでお勧めです。

Q5
海外経験が今に生きていると感じるときはどんなときですか？

道に迷っている外国人を見たときとかですね。緊張せずに声をかけられるようになりました。

まとめ
今回も楽しくインタビューさせていだき、野澤先生はご自身の研究にとっても熱心に取り組んでおられるのが伝わってきました。

また、先生はたくさんさんの国の言葉が話すことができるそうです！聞いたこともないような言葉を話してくださったときは驚きました。自分の好きなことから海外に触れるのもいいかもしれませんね！

Teacher and interviewer

